



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Hisashi Shimada 〒659-0093 3-13, Sendo-cho, Ashiya, Hyogo, JAPAN  
 Mail : [freedomism@nifty.com](mailto:freedomism@nifty.com) Phone : 0797-38-4936  
 URL : [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/ashiya.html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html)

## 主 題

国際協会会長 「世を照らす光となるう」  
 Philip Mathai(インド) "Be the light of the world"  
 アジア地域会長 「歳月 Y's をワイズ(賢者)にする」  
 Oliver Wu(台湾) "Years bring wisdom"  
 西日本区理事 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう」  
 成瀬 晃三 クラブで、地域で、国際社会で、  
 "Let Y'smen Light Shine before Others,  
 in the club, in the community, in the world"  
 六甲部部长 「柔軟な創造で愚直に積極的な」  
 上野 恭男 ワイズライフを楽しもう」  
 "With the heart filled with creative evolution.  
 Let us enjoy Y's life. Faithfully and constructively!"  
 芦屋クラブ会長 「奉仕する共同体」  
 島田 恒 'Serving Community with YMCA'

会 長 島田 恒  
 直前会長 都筑省三  
 副 会 長 羽太英樹・堤 清  
 書 記 桑野友子・福原吉孝  
 会 計 羽太英樹  
 監 事 田舎庸男  
 連絡主事 藤田良祐  
 六甲部 上野恭男(部長)・加輪上敏彦(事務局長)  
 柏原佳子(書記)・桑野友子(会計)

8  
 August 2012  
 第 183 号

## 今月の聖句

喜びをもって生き、長生きして幸いを見ようと望む者は……悪を避け、善を行い、平和を尋ね求め、追い求めよ。(詩編 34:13~15)

## 8月第1例会プログラム

- と き: 2012年8月15日(水) 19:00~21:00  
 と ころ: ホテル竹園芦屋 3F  
 司 会: 柏原佳子  
 受 付: 羽太英樹メン・藤田良祐連絡主事
1. 開会点鐘 島田 恒会長
  2. クラブソング斉唱 一同
  3. 聖書朗読 羽太英樹メン
  4. ゲスト・ビジター紹介
  5. 五十嵐政二メン・かほるメネット転会式  
立会い = 上野六甲部部长
  6. 食前感謝 藤川晃成メン
  7. 食事・歓談
  8. ゲストスピーチ 岡本威芦屋市副市長  
「芦屋市の現状と課題」
  9. 1) 第2例会議事録の承認 島田 恒会長  
2) 事業委員報告・その他 各委員 & メンバー
  10. YMCA ニュース 藤田良祐連絡主事
  11. ニコニコ献金報告 福原吉孝メン
  12. 誕生祝い 島田 恒会長  
堀江メン・メネット
  13. 閉会点鐘 島田 恒会長

## Yサ委員の立場として

渡辺倫子

Y'sに入会して以来、私は長年Yサ委員を担当しています。多分芦屋ワイズのYサ事業のひとつに「留学生交流会」があり、そのお手伝いをさせて頂いているという立場からこの役を頂いているのだと思います。が、しかしこれまでの自分はYMCA運動へ仕えるという意識が大変低かったことを痛感いたします。ワイズメンの活動目的の最初の第一項目に「まず第一にYMCAのためのサービスクラブとして活動する」とあります。クラブの最大目的であることを再認識し、Yのことをもっと知りたいと思います。

多くの方が何かしらの形で社会奉仕、あるいはお返しをしたいという志で色々なボランティア団体に所属しておられると思います。

私もワイズ以外にも関わっている団体はありますが、ワイズが他と違う点は、奉仕、寄付行為に留まらず、社会との関わりの中でワイズとしての“きずな”をより固く結ぼうと働きかけをすることではないかと思っています。そして島田会長が言われるように、公的社会ではカバーできない分野をワイズが担っている。そのことを深く自覚したいと思います。

## 7月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率	BF切手 (累計)
メンバー	14名	出席者 14名	0gm (0gm)
ビジター	4名	メイアップ 名	
ゲスト	3名	合 計 14名	
メネット	3名	在籍者 17名	ニコニコ (累計)
合 計	24名	(内広義会員 1名)	18,200円
		出席率 87.5%	(18,200円)

## 7月第一例会議事録

当日司会 田舎庸男 文責

とき：2012年7月18日(水) 19:00～21:00

場所：市民センター 203会議室

出席者：井上・田舎・上野・柏原・加輪上・桑野・島田・都筑・堤・羽太・福原・藤田・堀江・渡辺の14メン及び飯田・大澤・島田の3メネット 計17名

ビジター：大阪泉北クラブ 遠藤道寛メン、神戸クラブ 五十嵐政二メン及びかおるメネット、鶴丹谷EMC主査(神戸クラブ) 計4名

ゲスト：浅葉 修氏(島田の友人)、権 甲植氏(7月まで芦屋西協会伝道師)及びその夫人崔 和子氏 計3名

合計 24名

### 第1例会報告

(1) 定刻より2,3分遅れたが、今月の例会は今年度のキックオフ例会ということでの開会点鐘は都筑直前会長によって行われ、無事開会となった。今回の例会会場は、通例の竹園ホテルが毎年の夏のように読売巨人軍に占領された為とのことで、市民センターとなりました。従って、クラブソング斉唱は加輪上メンのリードでアカベラとなりました。羽太メンによる聖書朗読に移って、マタイの福音書の言葉が朗読されましたが、「狭き門」と「広き門」という章が紹介されました。非キリスト信者である筆者にとって、この言葉は若かりし時代に読んだ「アンドレ・ジッド」の短編小説が思い出される程度でしたが、当時、「狭き門」が神への愛、「広き門」が世俗の愛という程度で理解していたのではないだろうか等と懐かしく当時のことが思い浮かびました。

(2) 本日はキックオフということで、重要なセレモニーである新旧会長の交代式が行われました。流石、今期の部長は、われらがクラブの上野メンだけに、堂々たる司会のもと



に、荘重な雰囲気、引継式が行われました。

(3) ゲスト・ビジターの紹介も終わり、羽太メンによる食前感謝で、食事、歓談の時間に入りましたが、今回は上記のような事情で、ホテルサービスとは行かず、ピュッフスタイルだったので、滞りなく行くか心配でしたが、流石紳士、淑女の集まりであるワイズらしく順調に進み、歓談も楽しく出来たのではないかと思います。

(4) ここで、部長公式訪問挨拶ということになるが、当クラブから選出された上野メンなので、簡単に済ますことと想っていたが、流石万事にきちんとする上野メンらしく、今年度の部長方針のスピーチがきちんとなされた。



(4) 次に、ゲスト・スピーチが行われるのが、通常であるが、新会長

島田メンの強い思いであろうが、会長キック・オフ・スピーチということで、「私たち今どこにいるのか」、「非営利組織(NPO)の役割」、「芦屋ワイズメンズクラブの活動方向」という三つのテーマで格調高いスピーチが20分にわたってなされた。いつも

島田メンのスピーチを拝聴するときに思い浮かべるのは、ヨハネの福音書の冒頭の「初めにロゴス(言葉)ありき」という文言で、これは、ある人によれば「初めにロゴス(論理)ありき」とも訳せるそうだが、島田メンの名調子で、言葉から更に進んで格調高い哲学が編み出されていくことにほれほれ、引き込まれたひとときでした。

(4)さらに、みどり基金贈呈式、ニコニコ献金報告、EMC主査アピール等、並びに前年度の会計報告及び監査報告なされ、全ての議事次第が終了、予定通り、島田会長による閉会点鐘なされて 無事に閉会となりました、その時刻は、きっかりと21時でした(?)。

### 六甲部第1回評議会

六甲部書記 柏原佳子

はじめに、六甲部第1回評議会主催者の一人として六甲部の皆様に心からお礼申し上げます。また部長ホストクラブとしても多くの出席とお世話いただいたことに感謝いたします。第1部は書記として柏原が司会をさせていただきましたが「天に召された飯田ワイズへの黙禱を捧げます」と申しましたとき、飯田メネットさまと目が会ったことを心に刻みました。西日本区のクリスチャンティ委員の大田厚三郎ワイズの開会祈祷、水野総主事の来賓挨拶、上野部長からは今期役員との紹介があり、議事に入りました。森紘一直前部長の活動報告があり、館会計から2011/2012年度の会計報告がなされました。六甲部大田直前監事から監査報告があり承認されました。引き続き今期会計予算について桑野会計より報告されました。基本的には従来からの考え方で行くことで全員一致で承認されました。

ブルーミンメドの柔らかなウッドに包まれ、窓を見れば緑、爽やかな風が通りすぎました。2012/2013年度の上野部長の活動方針は「柔軟で愚直に積極的



なワイズライフを楽しもう」とされた飯田義雄ワイズのそれを踏襲されました。飯田ワイズの熱意と気配りの姿勢に“これからのワイズの人”を期待されていたからだと思います。

第1回評議会資料は、主査や会長の皆さまと5月には準備役員会、7月2日には主査会を開き、話し合いの結果、活動報告・方針など補足や校正をして作成されたものでこの1年の六甲部の指針となるものです。この資料のもと、決められた時間内で見事にまとめて発表をされた六甲部役員の皆様に感心いたしました。今期の夢、「六甲部はみんなで歌って楽しもう！」と語られていた飯田ワイズの夢の続きを具現化するには4月の悲しい空白の時間は大きく、それを埋めるべく部長キャビネットは一生懸命です。書記のところには多くの連絡メールが届きます。評議会・懇親会は楽しかったです。と1行書いてくださっていることで勇気をいただきます。六甲部の会長・主査の皆様の積極的な姿勢が希望となり、またホストクラブのお支えがあることで重責が楽しみに変わっていきます。2部の「講演」の司会は芦屋クラブ会長 の流暢な司会へとバトンタッチです。

2部は「清盛がめざしたもの」と題した高橋昌明神戸大学名誉教授によるご講演で 清盛像の見直し・平家の幕府と平氏新王朝の創出という斬新な観点からのお話で印象深いものであり、会場からも活発な質問が出て、好評でした。



## 8クラブ納涼会

福原 吉孝

今回は、六甲部の各クラブの会長以下多数の参加で、納涼会が催された。六甲部評議会の議事を終え、会場は、ブルーミンモードでビュッフェ形式の立食パーティで行われた。司会進行はEMC主査鶴丹谷メンで元気な明るい声で進行した。神戸クラブの森愛子ウイメンによる食前感謝で楽しい納涼会が開始された。会食は、ビュッフェ形式で楽しい立食パーティとなった。まず上野部長の音頭で、乾杯となった。当日は大変な猛暑の夏日であり、よく冷えた生ビールが美味しく、喉を潤した。



会場には、ブルーミンモードの美味しい料理が色々と取り揃えられ、美味しい料理に舌鼓を打ち、あちらこちらで楽しい会話が弾んでいた。ブルーミンモードの一階にはテーブルが用意されており、美しい芝生と木々のある庭では美味しい食事と飲み物を楽しみながらの懇談となった。二階の会場では、大野メンと鶴丹谷メンのギター演奏と歌声が始まり、出席者とともに歌声が響き渡り楽しい雰囲気が一層盛り上がった。

今回のハイライトはフレディ葉山氏による独唱であろう。フレディ



葉山氏は、ブルーミンモードのオーナーであり、私たちの芦屋クラブのメンバーである渡辺倫子さんのご主人である。このような特技をお持ちだったのでびっくりさせられた。三宮、梅田のライブハウ

スで歌っている歌手と聞き、なるほどと納得したが、大変、見事な圧倒されるボリューム満点のある歌唱力であった。また演目は、懐かしく良く知られたなじみのあるポップス系の歌であった。ロシアより愛をこめて等、会場に華やかな雰囲気を一層盛り上げていた。

会場には、暑気払いの納涼大会にふさわしく楽しい笑い声と会話が響き渡り、楽しく納涼会であった事を報告したい。準備に奔走して頂いた六甲部の役員の方々有難うございました。また、会場の美味しい料理と飲み物を用意して頂いたブルーミンモード様、大変、楽しい納涼大会となり感謝致します。大変有難うございました。

## チャリティワインの会「子供奨学金」ご報告

上野恭男

神戸 YMCA チャリティワインの会が7月27日(金)にポートピアホテル4Fレヴァンテの間で開催されました。



25 回目を迎えた今回は、サイコー亭から場所をホテルに変えて気分も雰囲気も上々のチャリティワインの会となりました。芦屋からは柏原佳子ウイメン、渡辺

倫子ウイメンに上野の3名が参加しました。当日はお天気は良かったのですが暑い日でしたので、セミフォーマルで参集された60人の方々の挨拶は「暑いですね！」でした。安行英文ワイズの挨拶のあとYMCA 功力氏の話があり会が進行します。シェフの料理の説明があり、続いて岡本博文ソムリエからワインの古里ブドウ畑の写真がパワーポイントで紹介され本格的なワインの会の雰囲気になりました。お料理は繊細なフランス料理でとても美味でした。ワインはスパークリングワイン1種類、白ワインが2種類、最後に赤1種類とテーブルごとに配膳され、ボトルを眺めながら試飲をしました。25周年ということで、今回はチャリティとしてのトップオフはなく、1万円の会費相当の会食ですとの説明があり、何となく納得しました。

食事が済むと、恒例のチャリティオークションが加茂ワイズの手で進められました。上野は、繊細な竹細工の出品、カマキリ(写真)を500円で落としました。和やかにオークションは進行し、最後は三田米5KGを柏原、渡辺両ウイメンが落としてみなニコニコ顔です。オークションの総額は5万円ほどでこれがチャリティになりました。この日も柏原ウイメンが社交的な雰囲気、芦屋クラブの次回例会に遊びにこられませんかと誘われ応じてくださる方がいました。EMCはこんな形がベストでしょうね。



行きはヨイヨイ、帰りは重いお米を持って少し大変でした。でも、楽しかった余韻を残しながら帰りの車中では会話が弾みました。我々以外の皆さんも次回は参加しましょう！

## 芦屋みどり作業所を激励

上野恭男

芦屋の花火大会が終わり、夏空がキラキラ輝く7月28日(土)に「芦屋市保健福祉フェア」が福祉センターで開催、また同日「芦屋浜コミスク夏祭り」が中央公園で開催されました。芦屋みどり作業所は両方の催しに参加し、かき氷、綿菓子でちびっこを楽しませました。1杯100円で販売して長い行列が



できていました。芦屋クラブからは島田会長、羽太ワイズが激励に訪れ、上野も恒例の水菓子を冷やす氷を届けました。

## 六甲部の8月・9月の行事

部長公式訪問

- 8/4 さんだクラブ 上野部長・柏原書記・桑野会計  
8/7 六甲部ネット会 神戸YMCAサイコー亭 柏原・渡辺  
8/9 神戸ポートクラブ 上野・柏原・桑野  
8/17 西宮クラブ 上野・柏原・桑野  
六甲部部会  
9月8日(土) ホテル竹園芦屋

## 第2例会・議事録

日時:7月25日(水) 19:00~20:50  
場所:市民会館 206号室  
出席:上野、柏原、島田、都筑、羽太、藤田、堀江、(7名)

### < 報告・協議・確認事項 >

芦屋クラブ 第1例会

- 8月第1例会:8月15日(水) 岡本威芦屋市副市長  
「芦屋市の現状と課題」  
9月第1例会: 9月19日(水) 土井健司関学教授  
「キリスト教は戦争好きか」を題材にした話  
10月第1例会:10月17日(水) 福岡芦屋市教育長  
「芦屋市の教育」  
11月第1例会:11月21日(水) 健康講座 または 研修  
会を兼ねて開催も検討。  
12月第1例会:12月23日(日) クリスマス祝会

六甲部会9月8日(土)ホテル竹園 13:00~19:30

受付: 都筑、羽太、福原、堀江、渡辺  
名札・領収書: 羽太、桑野  
集合:12時(但し 受付担当は11時30分)  
「8クラブ歌の対抗戦」のプログラムあり 各クラブ(持ち時間5分)が参加。伴奏はCD、会場のピアノ、当日のギター演奏者。優勝、準優勝、3位まで賞品。8月20日までに柏原書記に曲目、伴奏を決め連絡。  
芦屋クラブの対応は選曲とまとめ: 加輪上メン(サポート羽太、上野、堀江メン) 出席者全員で歌えるものか、グループを組み歌い、それを応援団がサポート。

九州北部豪雨災害緊急支援募金  
クラブメンバーの義捐金(ニコニコ献金を充当)。

15周年記念例会実行委員会報告  
前回から大きな進展はない旨 島田会長より報告。  
記念広報は上野メンが編集主体。

12 - 13年度収支予算(案)  
今年度予算は 暫定予算としてスタート。15周年記念事業は確定後 計上。

その他  
ワイズソングはクラブで失くさないCD 管理を。  
誕生日の記念品復活の要望。(次回審議)  
第2回六甲部評議会 3月16日 余島で開催を計画。  
堀江哲次

## YMCAニュース

藤田良祐YMCA連絡主事

夏の国際交流について

7月9日(月)から日本語の夏期集中コースに、シアトルYMCAから11名、台中YMCAから12名を含む多くの外国からの学生を迎え、日本語の修得をはじめ、日本文化体験やフィールドワークを行った。シアトルYMCAからは、7月17日(火)から31日(火)まで、ユースグループが来神していて、高校生9名、引率2名の方々が、神戸でのホームステイや文化体験、余島や広島、京都訪問など多彩なプログラムを楽しんで交流した。神戸からも7月30日(月)から8月10日(金)まで、中高生のグループ15名と2名の引率でシアトルでの生活と交流を行った。神戸市・シアトル市姉妹都市締結55周年の神戸市訪問団の一員として水野総主事がシアトルを訪問し、シアトル市長公式訪問や交流会をはじめ、シアトルYMCAとの交流の機会を持った。この夏も様々な国際プログラムが実施されたが、ユースを中心とした交流が今後も継続されることを祈ります。

九州北部豪雨について

7月13日(金)を中心に起こった九州北部地方での豪雨災害について、熊本YMCAの阿蘇キャンプ場をボランティアセンターとして、熊本YMCAが復旧支援の活動を続けています。阿蘇地区の住民救援組織とYMCAとの連携が難しく、まだまだ1ヶ月くらいは作業が継続される状況のようです。神戸からなかなか支援できないもどかしさがありますが、募金も始まりました。ご支援をよろしくお願いいたします。

東日本大震災支援活動について

夏キャンプのプログラムの中で、この夏、二つの被災地支援のプログラムが行なわれた。一つは福島市の子どもたち40名を招待する三菱商事協賛のダイヤモンドキャンプで、7月29日(水)から8月2日(木)まで、余島キャンプ場にて行なわれた。ワイズメンズクラブや現地のボランティアの方々、啓明学院高校のボランティアにご協力いただいた。7月23日(月)から26日(木)まで宮城県を訪問するボランティアバスは啓明学院高校の生徒30名をはじめ、学校法人の幼稚園の教員、シアトルYMCAのスタッフと学生3名も参加し、合計44名で宮城県石巻市と山元町で活動した。それぞれに被災地への思いが伝わり、また参加者にとってはより良い体験になったのではないかと思います。

今後の予定

ユースラフェスティバル

日時:8月26日(日)11:00~16:00

場所:ユースプラザ KOBE・EAST

内容:地域の子供達を対象とした簡単なクラフトやゲーム、高校生吹奏楽部やゴスペルグループの生演奏も予定。

編集後記:

今年の夏は一段と格別な暑さを感じます。でも8月はオリンピック、高校野球など若い元気なアスリートたちの活躍を楽しめる季節でもあります。どうか皆様 この暑い8月を乗り切って 涼しい秋の訪れを待ちましょう。  
堀江哲次